

北海道実習に行ってきました。

2008年8月25日～28日の4日間、日本大学北海道八雲演習林を主なフィールドとした北海道実習に行ってきました。この実習は、森林資源科学科の1年生の希望者を対象として毎年実施しているもので、地元の専門家の方のご協力の下、北海道の森林植生や林業・木材産業について目で見ただけでなく、実際に体を動かして体験しながら学習することができる実習です。

24名が参加した本年は気候が多少涼しかったものの、無事にすべてのメニューを消化することができました。本州では見ることのできないトドマツをはじめとした森林植生や、ハーベスタと呼ばれる大型林業機械による作業を見学するだけでなく、作業を体験することで北海道の森林・林業・木材産業を学びました。

本年の実習も山越郡森林組合をはじめ八雲町、北海道渡島東部森づくりセンター、北海道森林管理局渡島森林管理署、ヒバの会ボランティアの方々のご協力があり、無事成功裏に終了することができました。ここに記して感謝の意を表します。



最終日、八雲駅にて



今夜はテントで野外泊♪



実習所周辺の下草刈り



地元の人との交流会会場づくり



交流会の食材準備



手作りバターに挑戦中



準備完了！！



お肉も野菜も盛りだくさん♪



ブルーメライスで樹高測定



輪尺で胸高直径測定



カラマツの枝打ち作業



手作業で伐倒に挑戦



計測した樹高や胸高直径データを
パソコンに入力



演習林内でキツネに遭遇



いざ、自然観察に出発



解説員さんの話をよく聞いて



ヒバ爺さんとブナ婆さんに出会った



高性能林業機械の伐倒作業見学



玉切りされた木材はそろえて
一ヶ所に積み重ねます



玉切り作業に挑戦！



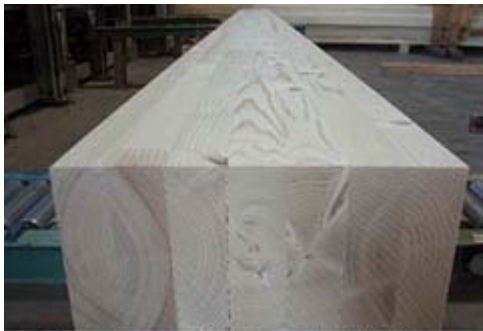
高性能林業機械と記念撮影



原木からラミナ(厚さ30mm前後の木材)
生産過程見学



ラミナから集成材加工工程見学



幾つものラミナを重ねて1本の集成材に



誰が一番速いか転がり競争